

CASE 1

インストラクターの指導により、 会社全体に改善意識を



同社HPはコチラ！

福井市で機械設計・製作・組立を行う株式会社寺本鉄工。ものづくり改善提案具体化事業を活用し、工程進捗を共有できるシステムの導入と各部門のリーダー層への研修を実施しました。今回、事業活用の経緯や活用後の変化について、代表取締役の寺本光宏氏にお話を伺いました。



代表取締役 寺本 光宏 氏

DATA

株式会社寺本鉄工

所在地: 福井市三十八社町32-19-31
代表者: 寺本 光宏 氏
事業内容: 機械設計製作・組立・加工
TEL 0776-38-5118



グループ会議の様子。

**きっかけは生産性の向上と、
グループ長の能力開発のため**

「事業を活用したきっかけは、働き方改革が叫ばれる中で生産性向上を図る必要があったこと、グループ長に業務の改善を行う視点や手法を学んでほしいと考えたことです」と寺本氏。同社は以前から、社内で改善提案を募集する制度を導入、運用していましたが、導入当初は、提案も上がっていませんでしたが、次第に提案の数は減少し、なかなか意見が上がってこないという状況に。

そこで、全10回のインストラクター派遣を通じて各工程の進捗状況を共有できるシステムの導入と、各部門のリー

ダーを対象に研修を実施。寺本氏は「システムの導入ももちろんですが、リーダーへの研修による意識の変化が一番の収穫だと感じています」と手応えを話します。

**意見を出し合う風土が完成、
情報共有化も進める**

寺本氏は、「担当していただった清水インストラクターには、改善の視点や手法だけでなく、会議の場でのように目的を明確にし、その目的をどのように達成していくかのプロセスまで指導してもらいました。2カ月に1回行っている部門会議も以前と比べて雰囲気良くなりましたし、改善案も上がってくるようになりました」と話します。また、工程の進捗状況の共有システムの導入については、「これまでは工程間での情報共有ができていなかったために、急な手待ちが発生するといったことがありました。まだ導入したばかりなのでこれから組織に浸透させ、情報共有を進めることでムダを排除していきたいですね」



同社が製作する機械。設計から電気まで一貫して行う。

と話します。

**メンバーを変え5S活動も、
自立した組織づくりを**

同社は今後もインストラクター派遣を活用し、5S活動にも着手する予定です。「今回のインストラクターの指導により、良い組織風土ができつつあります。この流れを継続できるように、メンバーを変え、5Sの指導もしてもらおうと考えました」と寺本氏。「改善のプロであるインストラクターから学び、常に改善意識を持ち、良い提案がどんどん上がってくるような自立した組織づくりを目指していきたいです」と展望します。

特集
現場改善最前線より良い現場を作る



5S委員会での打ち合わせの様子。

「通常業務との兼ね合いもありましたが、5S活動に対し全員が当事者意識を持って取り組んでくれました。以前と比べて意見も出てくるようになり、こういった意識の変化も収穫となりました」と青山氏。より自立的な組織を目指し、5S委員会もメンバーを入れ替えながら進めていく予定です。

また、当初からの目標であった情報の5Sにも着手していく計画で、過去の記録をいつまで、どのように管理していくか、現在の仕事の状況をどのように記録し、管理していくか。そして受注から売り上げまでの部門間の情報のやり取りをどのように管理していくか、という3つを課題

として挙げます。青山氏は「もちろんこれまでも3つの課題に対し対応してはいるものの、まだまだ不完全です。各部門で承認がとられた上で、モノが次工程に流れていく。そしてその記録が各部門でしっかりと行われていれば、モノと情報が見えないモノ（情報）が流れていく弊社でもこのような流れをしっかりと作っていきたいですね」と話し、最後に「オフィス内の5Sもまだ完成には至っていないという認識です。最後までやり遂げるといって5S

当事者意識を持った組織へ情報の5Sを進める

がしっかりとできれば会社にとって大きな財産になります」と話します。

とて挙げます。青山氏は「もちろんこれまでも3つの課題に対し対応してはいるものの、まだまだ不完全

活動を継続し、より強い組織を目指していきたいですね」と締めくくります。



同社の主力製品、Fellowshipシリーズ。人事・給与・就業以外にも財務、生産管理なども。

CASE 2

5S活動を通じ、強い組織づくりを



同社HPはコチラ！

DATA

株式会社シー・シー・ユー

所在地：坂井市丸岡町熊堂3-1-67
(ソフトパークふくい開発センター)

代表者：青山 博喜 氏
事業内容：パッケージソフトの開発・販売、
システムコンサルティングなど
電話番号：0776-67-6112
URL: <https://www.ccu.co.jp/>



代表取締役 青山 博喜 氏

10年前に構想していた5S活動を展開

1981年に青山氏が個人で創業し、1987年に設立した同社。現在は人事・給与・勤怠管理・財務会計・生産管理といった業務システムを主に開発・販売しています。青山氏が5S活動の構想を描いたのは今から10年前。製造業での経験もある青山氏は「情報産業では目に見えないモノが動かず、情報が動くため、5Sや受注から販売までのモノと情報の流れの管理といった部分が曖昧になってしまいう傾向にある」と感じていたそうです。なかなか着手できずにいたところ、ものづくり改善インストラクターの存在を知ったことが後押しとなり、5S活動を開始しました。

具体的には、整理・整頓・清掃を迷いなく行えるよう、備品を廃棄・購入する際の社内規程の整備、清掃のルール作り、月に1回の委員会メンバーによるパトロール実施など

と振り返ります。具体的には、整理・整頓・清掃を迷いなく行えるよう、備品を廃棄・購入する際の社内規程の整備、清掃のルール作り、月に1回の委員会メンバーによるパトロール実施など

が、まずはオフィス内のモノの5Sから進めていくことに。青山氏が委員長となり、各部署の若手から中堅までの社員を中心に計9名で「5S委員会」を組織し、2週間に1回のインストラクターによる指導、委員会メンバーでのミーティングを重ねながら、取組みを進めていきました。高村氏は「委員会でのミーティングではインストラクターが求めるあるべき姿を、どのように社内へ合った形で落とし込んでいくか、といった点も話し合いました」と振り返ります。



5S活動の取組の一つ。書類・レターの整理・整頓を行った。